ごあいさつ

日頃、組合員・利用者の皆様には格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。

さてこの度、2012年度の事業内容や経営内容などをご説明した「ディスクロージャー誌」を発刊いたしました。ぜひご一読いただきたくお願いいたします。

2012年度のわが国経済は、大震災からの復興に向けた動きは鈍く、円高・デフレの長期化と欧州経済の低迷、日中関係の冷え込みにより輸出は伸び悩み、景気後退感が一段と増していましたが、政権交代を転機に安倍内閣が打ち出した、デフレ脱却と日本経済再生に向けた各種の政策期待感から、円安・株高に転じ、景気回復基調の方向にあります。

農業を取り巻く環境は、国内農業崩壊と食料の安全保障に危機的な状況をもたらすであろうＴＰＰ（環太平洋連携協定）について、国民の懸念や不安が払拭されないまま、交渉への参加が進められていることは極めて遺憾であり、今後も、断固反対の運動を粘り強く展開していく必要があります。さらに、今後の円安による輸入肥飼料原料や原油価格の高騰、消費税増税と相続税制の見直し、農業者の高齢化の進展など農業経営継続上の課題は山積しています。

ＪＡはだのでは、こうした厳しい情勢の中、さらなる組織・事業の拡充強化を目指し、運営基本構想に基づく第三次中期経営計画（2012年度～2014年度）初年度の実践に取り組みました。

組織運営では、事業利用者への組合員加入促進をすすめ、組織・事業基盤の強化と拡充をはかりました。さらに生産組合活動への参加と結集をはかるため、活性化助成策の活用促進につとめました。また、組合員教育事業で講座や研修会を開催して組合員リーダーの育成と協同組合活動への参加を促しました。

事業活動では、「はだの都市農業支援センター」と連携して「地域農業振興計画」の実践をすすめ、鳥獣被害対策の取り組み強化、多様な農業の担い手育成、観光農業の促進につとめるとともに、さらなる農業振興と新たな課題解決に向けて第二次地域農業振興計画を策定しました。販売事業では「はだのじばさんず」を「地産地消」の拠点として、地元農畜産物の消費拡大と、生産履歴記帳の徹底指導による安全・安心な農産物の提供につとめました。

さらに生活文化活動や健康管理活動を女性部員中心に積極的に展開するとともに、次世代層を対象に食農教育の実践をすすめました。

経営管理では、信頼されるＪＡづくりのため、内部留保の充実による健全な財務基盤の構築、コンプライアンス態勢の充実強化と厳格な資産査定により経営の健全性確保につとめました。

ＪＡはだのでは、地域農業の振興に軸足を置き、組合員をはじめ地域住民との豊かな社会づくりに向けた役割を果たすため、協同組合運動の躍進に向けた活動に取り組んでまいります。

皆様の一層の参加、参画および利用結集をお願い申し上げます。

秦野市農業協同組合
代表理事組合長　古谷　茂男